

令和5年8月24日(木)14時時点

赤字部分が追記・修正箇所

## 葵区諸子沢地内における地すべりについて

### 1 これまでの経緯

8月21日(月) 10時頃

地元の大川自治会連合会会長より入電

：諸子沢川の濁りが発生している。斜面の崩壊が疑われる。

8月22日(火) 14時頃

市職員によるドローン等による現地調査で確認

：葵区諸子沢地内の大久保沢上流部で山腹が崩壊し、大規模な地すべりが発生している（現時点で流出土砂量は不明）。

：土砂が流入した大久保沢(市管理)と、大久保沢が合流する諸子沢川(県・市管理)で濁りが発生している。

：流出した土砂が大久保沢中流域の県設置の治山堰堤まで達している。

8月23日(水) 15時30分頃

静岡県中部農林事務所職員から市担当者へ入電

：土砂や流木が、大久保沢と諸子沢川の合流地点に堆積し、市道日向諸子沢線まで流出している（流出量不明）。

8月23日(水) 16時45分

：諸子沢川下流部には19世帯の集落があるため、大川小中学校に避難所を開設。自治会を通じて住民に対して避難を呼びかけている。

：市道日向諸子沢線は、中村橋付近から通行止め措置。通行止めよりも上流部には2世帯の集落があるが、迂回路を利用したの往来は可能

8月23日(水) 20時20分

避難所（大川小中学校）に2世帯5名が避難

：職員が避難所を訪問し、現地調査の結果を説明

## 2 現地調査の状況

24日(木)6時から、市長ほか、道路、河川、治山部局職員にて現地調査

### 調査結果

#### (1) 源頭部から目視、ドローンにより調査(6時)

- ・土砂は尾根付近で大規模に落下(土量不明)、これ以上、上部の崩壊は広がらない見込み
- ・中間部の緩傾斜部に水の滞留が認められる
- ・中間部を含め、大規模な土砂移動がある可能性は低い見込み

#### (2) 諸子沢川と大久保沢の合流地点から上流を調査(7時)

- ・諸子沢川には大規模な倒木で市道がふさがれている
- ・周辺を泥水が流下し、市道まで達している
- ・市道への堆積はあるものの、泥水は河道(諸子沢川)を流下、時折急な増水がみられる。
- ・上流部の小規模土砂堆積が崩壊し、一時的に増水したものとみられる。

## 3 今後の見込み

### (1) 雨量見込み

- ・本日(24日) 雨、昼過ぎから曇り 所により朝まで雷を伴い非常に激しく降る
- ・明日(25日) 曇、時々晴れ 所により雨

### (2) 河川の状況

- ・崩壊部の中間部に雨水が大量には貯留しないと見込まれるため、大規模な天然ダムが形成される可能性は低い
- ・強雨が発生しない限り、現地の状況からみて大規模な土石流が発生し、下流に到達する可能性は低い
- ・水の滞留部が部分崩落し、河川が一時的に増水する可能性はある
- ・今後の雨にもよるが、住戸に被害が及ぶような河川増水の可能性は低い

## 4 今後の避難の呼びかけ

- ・24日(木)8時時点で1世帯2名が避難
- ・今後の雨の見込みから、増水により家屋に危険が及ぶ可能性は低いので、10時をもって避難の呼びかけは解除する。ただし状況変化により、避難を呼びかける可能性はある。
- ・24日(木)12時30分時点で2世帯5名が避難(一旦帰宅した避難者が不安であると再び避難されてきた) 担当: 葵区役所地域総務課 221-1343

## 5 今後の調査

### (1) 監視体制

・日中は職員が目視により監視し、夜間はセンサー又はカメラを設置し河川を監視する。増水が見られた場合や増水が予測される場合には、速やかに避難を呼びかける。

### (2) 県との連携

・県がドローンによる3次元測量を実施予定。崩壊土量についてより詳細に検討する。

### (3) 交通困難者への対応

・市道の復旧には時間を要するため、生活に支障をきたす上流部の世帯については、私道（作業道）をう回路として確保させていただくことで所有者と調整している。

## 6 今後の対応

### (1) 詳細調査

県のドローンを分析して本格復旧方法を検討する

### (2) 仮復旧

・大久保沢の河川流量が落ち着いたところで、天候の状況、ドローンで上流の堆積状況の確認を踏まえ、道路の仮復旧を行う。

### 担当

治山林道課 354-2163、河川課 221-1087、葵区役所地域総務課 221-1343、危機管理総室 221-1012